


様式 1

研修(研究)報告書

令和 3 年 3 月 31 日

玉名市議会
議長 内田 靖信 様

氏名 西川 裕文 

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	西川 裕文、内田 靖信、吉岡 五郎子		
日時	平成 2 年 7 月 6 日(月) ~ 平成 年 月 日() 午前・午後 / 時 30 分 ~ 午前・午後 時 30 分		
場所	くもと森が心づらサ	参加者数	20人
研修(研究)事項	議員の資質向上と政務活動費活用策		
概要及び所見	<p>元三重県社会事務局次長で現在三重県地方自治研究センター上席研究員 高神秀宣氏と講師。議員の資質向上と政務活動費活用策について約3時間の講義を受けた。資質向上では、議会、議員の役割や二元代表制と議会運営について、政務活動費の適正な活用と政策立案の仕方について学んだ。学んだ成果として二元代表制の中で、議会としては、政策形成機能の最も発揮の場であること、議員として常に自己研鑽の努力を怠らぬこと、再任を目指すこと、地域政策課題を的確に把握、執行部の提案について検討を行うこと、専門的知識を有し、課題機能や政策形成機能を発揮するに努めること、また、政務活動費を活用し、議会活動も積極的に取り組むこと、市政活動に効果を出す取り組みを心掛けること。</p>		

新人からベテランまで！ 自治体議会特別セミナーin 熊本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と議会事務局職員のための「学びの場」です。

議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「政務活動費の活用策」について、基本的な事項から政策立案への活用策まで扱います。どうぞ熊本地域の自治体議会関係者の御参加をお待ちしております。

2020（令和2）年7月6日（月）

13：30～16：30（3時間）

《議員の資質向上と政務活動費活用策》

記

◎日時：2020（令和2）年7月6日（月） 13：30～16：30（3時間）（13時から受付）

◎会場：くまもと森都心プラザ 6階 会議室D（JR熊本駅から徒歩約3分）
熊本市西区春日1丁目14-1 電話 096-355-7400（先着30名）

◎受講料：5,000円（議員）、2,000円（職員）（当日払い）

◎講師：三重県地方自治研究センター上席研究員 高沖秀宣氏
（議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長）
（1953年三重県生まれ、京都大学法学部卒。2002年4月から三重県議会事務局で、政策法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。
主な著書に『自治体議会改革講義』（東京法令出版、2018年）等がある。）

（プログラム）

- 1 議員の資質向上の在り方
- 2 「二元代表制」における議会活動
- 3 政務活動費の適正な使用
- 4 政務活動費を活用した政策立案の仕方

◎申込方法：下記のmail又は電話にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。
（参加者・講師はマスク着用、3密には可能な限り対応して少人数にて実施予定。）

◎申込み・問合せ先：自治体議会研究所（代表：高沖秀宣）

mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話：090-4116-4501（9時～19時）

研修(研究)報告書

令和 3 年 3 月 31 日

玉名市議会
議長 内田 靖信 様

氏名 西川 裕文 (印)

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	西川裕文 作本幸男 中尾嘉男 近松康子 古奥俊男 坂研司		
日時	31 3 年 1 月 12 日 (火) ~ 31 年 月 日 () 午前 午後 10 時 分 ~ 午前 午後 0 時 00 分		
場所	玉名市役所 4F 第 1 部 会議室	参加者数	40 人
研修(研究)事項	発達障害の子どもの改善		
概要及び所見	<p>今回、新生クラブ同会派の近松議員の友人で、出雲市で子ども園を開設されている前島由美先生を講師にお迎えし、発達障害の子どもの対応策についての講演を行った。市内保育園の方や、発達障害に関する市内の職員の参加も多かった。現在、家庭環境も変化し、核家族化や、ひとり親家庭や、親の貧困等も影響を与え、子どもの発達障害が増加している。玉名市は社会も同様である。このうち、食を通じて、発達障害の改善を行っている現場のお話があった。自然栽培や有機栽培の野菜や果物を子どもに食べさせる。ミネラル豊富な食料や、自然栽培の野菜(豆)等の体験も障害改善に繋がっている。玉名市は、地元有機産物等の食料の活用が、必要であると感じた。</p>		

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日（火）午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生（ゆめの森子ども園）

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギ一症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギ一と脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べなまきや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し（ミネラル補給）による改善に取り組む。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の昔体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と称される子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と称される子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会いました。今回、現場の方々や学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、

ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

ゆめの森子ども園代表
前島由美 著

くこには愛の関わりと食事改善、学校・家庭・医療者の連携がありました。

発達障害とゆめの森の連携で実現した副都立病院

ゆめの森子ども園との連携で取り戻す通園実例

子どもたちが暮らす環境・施設への関係構築

